

平成27年度 中央区立明正幼稚園 外部評価報告書

外部評価委員：谷島 豊 岩崎 滋 森野 久美子 三宅 尚子 押田 まり子
報告書作成者：境田 和男

評価時期 平成28年 2月

1 重点目標の評価

重点目標1について・・・健康教育の推進

本園では、この目標の具現化のため、「遊びの中で体を動かすことを楽しむ」「身支度や片付け、食事・排泄・着替えなどの方法が分かり、必要に応じて自分で行う」「食育活動を通し、栽培活動への興味や関心・収穫の喜び・調理や食べることを楽しむ」を中心に取り組んだ。全園児の保護者から回答があり、その中味は、「よくあてはまる」「あてはまる」がほとんどで、目標は達成されている。園児の遊び時間を十分に確保したこと、家庭と協力し合いながら基本的な生活習慣を根気強く指導したこと、食物を育てて、収穫し、調理をして食べるなどの食育活動を充実させたことなどが大きな要因であると思われる。

重点目標2について・・・意欲を育む遊びの推進

この目標の具現化のため、「幼稚園生活を楽しみに登園している」「目的に向かって繰り返し挑戦し、満足感や達成感を味わう」「人とのかかわりを通して、互いに刺激し合ったり、思いやりや優しさの気持ちをもったりできる」ことを中心に取り組んだ。どの項目も保護者から肯定的な評価を得ており目標はほぼ達成されている。しかし、「目的に向かって繰り返し挑戦し・・・」の項目は、「あまりあてはまらない」「よくわからない」と回答した保護者が他の項目に比べ多くみられた。年度初めに、園で目指す具体的な幼児像を示すとか、目標を保護者に分かりやすくするなど、より一層工夫を重ねていく必要がある。

重点目標3について・・・新園舎の場を活用した保育の展開

この目標の具現化のため、「新園舎の場を活用した遊びや活動ができる」「クラス便りホームページ、わいわいサロンでのプレゼンなどを通して、新園舎の場を活用した保育の理解を得る」ことを中心に取り組んだ。どの項目も、「よくあてはまる」と「あてはまる」で99パーセントを達成しており高い評価を得ている。わいわいサロンで、外部講師を招聘するなど、保護者が体験をしながら参加できる様々な企画や行事を多く設定したことが大きな要因であると思われる。

2 今後の改善に向けた意見

- 基本的な生活習慣については、諦めず、繰り返し家庭と協力し合いながら進めていく。
- 園内指導がマンネリ化しないように、視聴覚教材などを活用しながら指導に変化をもたせるように努力を重ねていく。

3 その他の意見

教職員の真摯な取り組みは、保護者、地域から高い評価を得ている。

* 3月に各学校のホームページで公表していきます。